

武蔵野市第五期長期計画・調整計画策定委員会
関係団体意見交換会（子ども・教育分野）

1. 開会（午前10時50分）

2. 策定委員紹介

（事務局による会の流れの説明の後、夏目委員長が挨拶し、各委員を紹介した。）

3. 意見交換

【武蔵野会】 オープンしたばかりの歴史資料館を見学しました。1階の半分以上が市民ホールになっているためすごく狭く、ありきたりの構造です。武蔵野市は、江戸の明暦の大火で職人や町人たちが強制的に移住させられ、開拓されたまちです。中町が短冊形なのは当時の名残です。いまだに南北の道ばかりで、東西の道がありません。これは防災を含めた武蔵野市の都市計画にも影響します。そういう点を強調した歴史資料館であるべきです。

【委員長】 私も見に行きました。確かに、明暦の大火についてのところは余りなかった気がします。

【A委員】 「ありきたり」という厳しいお言葉をいただきましたが、ふるさと歴史館は、井の頭の遺跡を初めとする貴重な文化財保護の拠点として、ようやくスタートを切ったところです。17世紀ごろから武蔵野市の歴史が大きく動いたという点で、明暦の大火の展示が不十分というご意見かと思います。ふるさと歴史館のほうにも伝えます。今後展示を見直すときの参考にさせていただきます。

【武蔵野会】 現在は1階しか使えていません。いつ2階のほうまで展示が広がるのですか。

【A委員】 2階は講座や研修ができる会議室のようなスペースになっています。また、武蔵野市内に古くからお住まいの方からいただいた民俗資料を陳列しているのですが、今はまだ自由に見ていただける状態にないため、市内の小学校の皆さんなど、団体であらかじめ申し込まれた方々のみ、ご案内と説明をしています。私も「2階ももっと見ていただきたい」と伝えていまして、今後の運用で改善していければと考えています。

【大野田あそべえ企画会議】 特別支援教育についてです。現在、学習が苦手な子、コミュニケーションが苦手な子を同じ学年の授業体制でしています。人数に対しての先生の数だけでやってしまうと、先生の負担が大きいと感じています。

また、学習機器の整備がおくれています。今の子どもたちは、大人と比べて機器の使いこなしが上手です。子どもの意欲を高める方法としても、スマートフォンのような学習機器を早く取り入れていただけたらと思います。武蔵野市の図書館には、DAISY 図書という、カラオケのような形で使うことができ

る画像と音声の資料があります。ただ、先生方の間でも認知度が低く、取り組むまでの時間がなかなかないように見受けられます。

武蔵野市は、東小学校があるため、むらさき学級、けやき学級、いぶき学級の子どもたちのニーズが届きにくかったのではないかと感じています。大野田小学校は、そもそもの人数が多いために、校長先生もむらさき学級のケアが大変だったのではないのでしょうか。どこかに学級をつくったほうがいいのではないかと思うときもあります。今年度は急遽人数が増えた関係で、先生をふやして乗り切っていただいています。校長先生の采配だけで動く形は、保護者から見ても大変そうです。市に言っても「教育機関のことですから」と言われてしまって歯がゆい思いをしています。

【副委員長】 私も機器の使いこなしがなかなかうまくいかないのですが、機器の活用で学習効果が上がるのは確かにあることだと思います。環境整備の問題ですね。人材の確保と育成・養成をどうしていくのか。また、図書館機能が情報として伝わっていないために、きちんと使えていないのはもったいないという3点についてのご意見、承りました。

【武蔵野市謡曲連盟】 私どもの連盟に所属する団体は、稽古にコミセンを使うのですが、場所の確保に苦労しています。境南町付近は施設が非常に少ない。武蔵野プレイスは、子ども用には使用料金が安いのですが、大人の文化団体には非常に高い設定で、気軽には使えません。もし稼働率が低いなら、値下げをしていただけないのでしょうか。

夏休みになると、土日は公共の運動施設の駐車場がいっぱいになります。無人化の機械のある駐車場にわざわざ管理人を配置しているほどです。土日はがらあき状態の市役所の駐車場を開放していただけないでしょうか。

【A委員】 プレイスの使用料を決める際には、市内の他施設や、近隣市の施設の額を参考にしました。プレイスの来館者は年間で160万人と、初めの想定の数倍となり、利用率は平均7～8割で、これは文化施設としては低いとは言えない実績を上げています。使用料がそれほど高いとは考えていないのですが、何とかならないかというところは、ご意見として頂戴しておきます。

【B委員】 土日に市役所の駐車場を無料開放したらどうかというご提案は、私からお答えします。この市役所は、昭和55年に中町から移転しました。その際に、近隣の方が大変ご心配された交通問題などが極力起こらないように、市役所の駐車場は来庁者にご利用いただくためのものとする等の経緯があります。

また、周りの体育施設の駐車場は有料で、市役所は無料としますと、市役所の駐車場が先に埋まって、緊急に戸籍等でお見えになる方の駐車場が確保できないなどの問題も起こり得ます。施設の有効利用という貴重なご提案ですが、今すぐ土日の駐車場を一般に開放というのは難しいかと思えます。

【武蔵野市謡曲連盟】 市民会館は古いということもありますが、1部屋1,200円、文化教育事業団体は600円です。プレイスは3,000円とか4,000円です。これはやはり高いと言わざるを得ません。

稼働率が平均7割というのは、無料のところも含めてですか。有料の稼働率が7割なんですか。

駐車場についての過去の経緯もわかります。しかし、今は市の施設ばかりで近隣には誰も住んでいません。状況の変化も考えていただきたい。また、私は無料で開放をと言ったものではありません。1時間

200 円の駐車場がいっぱいなので、同じように 1 時間 200 円で使わせていただけないかということです。

【A 委員】 プレイスの使用料については、ご意見として受けとめます。

利用率が 70～80%というのは、市が直接使う場合などの無料の部分も含んでいます。

【学童クラブ連絡協議会】 基本施策 3 と 4 に学童クラブのことを丁寧に書いていただき、ありがとうございます。基本施策 4 には子どもプラン武蔵野のことが書かれています。私はその委員もしています。先にできる子どもプランを遵守していただきたいと思います。よろしくお願いします。

【武蔵野市老壮連合会】 武蔵野市老壮連合会は、市が主催する生涯学習のいきいきセミナーの修了生が集まってできました。今までは、教育委員会の生涯学習スポーツ課の所属で、いろいろご相談もさせていただいていました。それが昨年 12 月に突然、「生涯学習の拠点はプレイスに移りました。これからはプレイスに伝えてください。プレイスで処理できない場合は生涯学習スポーツ課に意見が上がってきます」と、直接の連絡をやんわりと断られてしまいました。ところが、いきいきセミナー修了生でつくった会は市民に一般的に会員募集もしていないためか、プレイスを利用する活動団体として登録できないということで、メールボックスもロッカーも使えません。これは矛盾していると思います。

【A 委員】 生涯学習スポーツ課から「生涯学習の拠点がプレイスに移った」と言われたのは、プレイスは指定管理者である生涯学習振興事業団が運営しているという経緯からだと思いますが、なぜ市民活動団体として登録できないのかは、よく確認してみたいと思います。

【武蔵野市老壮連合会】 老壮連合会は、市から強制されてつくった会ではなく、外部からは自主グループの 1 つに見えると思います。今や 36 同期会があって、会員数は 700 名です。年間 11 回の老壮セミナーを開講し、毎月 1 日号の市報にも掲載されています。市との共催事業の老壮シニア講座と、3 月に開かれる趣味の作品展には、一般の市民の方もかなり来てくださいます。しかし、幹事会をする場所は勝手に探してくださいという感じですし、荷物の置き場所もありません。1 つのロッカーでもいいので使わせていただく場所があればありがたいですし、コミセンも市の共催ということで優先的にとっていただくか、市役所の会議室を使わせていただければと思っております。

【ラ・ラ・コーラス】 私たちの合唱活動には練習がとても大事です。最近、八幡町コミセンができたことで、20 名弱の部員の練習場が 1 つ増えたのですが、各コミュニティセンターのあいているところを探すのに苦労しています。社会教育団体として市の登録も受けていて、第四中学校の体育館などの学校施設を利用させていただいています。以前は、千川小学校の体育館の立派なホールにある、とてもいいピアノもよく利用させていただきました。ところが、最近、授業中はだめということで、私たちは春休みと夏休みに 1 回ぐらいしか利用できません。学校にあるホールは、所属は学校でも、学校だけのものではないと思います。市民活動をする人たちにもっと開放していただきたいです。

【A 委員】 武蔵野市では、学校施設を市民の活動に積極的に使っていただくために、20 年ほど前に学校施設の開放に関する条例をつくりました。学校施設を、学校教育で使用する時間を除いて市民に開放することを大原則にしているものです。ただ、出入りをしていただく関係で授業に支障があるとして、

一部お使いいただけない基準を学校側でつくっているのかと思います。

【ラ・ラ・コーラス】 利用許可をいただいても、急に学校の用事ができて使えなくなることは当然あると思っていますが、価値あるものは有効利用できる状態にしていきたい。

千川小学校は入口が別になっているので、授業の妨げになる感じではないと思います。

【武蔵野市謡曲連盟】 中央コミセンは、地域の方はたしか2カ月前から申し込めますが、それ以外の方は1カ月前です。市は、市民税でやっている以上は、コミセンごとに違うという不公平を是正していきたい。四中のテニスコートは地域の人しか使えないけれども、ほかの中学は武蔵野市民であれば誰でも使えるという例もあります。過去の経緯もあるとは思いますが、市として基準を設けて統一すべきだと思います。

【C委員】 武蔵野市は市民自治の原則があり、コミュニティセンターの利用のあり方については、自主性を重んじてコミュニティ協議会ごとに議論し、その地域の状況に合わせてご判断いただいています。そのために、施設ごとに基準が異なるのです。コミュニティ協議会ごとに議論をしていただくというのが市の基本的な立場となっています。逆に、市がここはこうあるべきだと言うのは、コミセンごとの多様性を無視することになります。使いにくくて問題であるということは、ぜひ各コミセンに要望していただき、その上でコミュニティ協議会で議論し、判断していただくという形が適切かと考えています。ただ、そういった情報が提供されていない可能性もありますので、ご意見は承って、皆さんに利用しやすい形を考えていければと思います。

【武蔵野市謡曲連盟】 各協議会の独自性に任すというのはわかります。しかし、申し込みのような、利用するための基本的なところは、協議会ではなく、市が市民全体の公平感をもってやるべきではないか。コミセンの運営費は、協議会がお金を集めているわけではなくて、市が市民税を使って全額出しているのですから、市として強制すべきことで、協議会に任せることではないと思います。

【C委員】 武蔵野市は、コミュニティセンターの運営を指定管理者という形でコミュニティ協議会に委託しています。コミセンの経費に関しては市が持ちますが、運営は、可能な限りコミュニティの中で議論をしていただいています。公平性をどこまで担保するかという点に関してもご意見を頂戴しますし、コミセンとの議論等も、可能であれば伝えたいと思っていますが、そこについて市からどうこうするというのは、これまでの武蔵野市の伝統からも、なじまないというのが私の感覚です。ただし、今後は地域フォーラムという新しい回路ができますので、行政も必要に応じてコミセン等と議論していただければと思っています。

【委員長】 生涯学習は教育基本法で重要な位置づけをされています。特に老壮を含め、武蔵野の高齢者の方々の活動レベルの高さを生かすことも市政の大事な役割だと思います。

【桜堤児童館地域クラブ】 児童館をなくして民営化するという話は、市の方針として打ち出しているにもかかわらず、児童館の利用者に行き渡っていません。今回、策定委員の皆さんで話し合っただく当たり、地域クラブの会員から、児童館の件に関する意見収集のやり方を改善してほしいという意

見がたくさん出ています。パブリックコメントで全ての意見は拾えないので、利用者に対してきちんとアンケート等を行った上で、児童館の役割などをきちんと認識していただきたいです。児童館がなくなると、40年の歴史を持つ地域クラブもなくなります。児童館で行われているサークル活動の意味も含めて考えていただきたいです。さらに、桜野小学校は今800人です。もう少しで1,000人を超えます。学区の問題は教育委員会が関係しているかと思いますが、児童数が増え過ぎて学校が危険な状態のときもあるので、スクールバスを出すとか、近くの二小は児童数が少ないことなどもあわせて、この先20年ぐらいのことを視野に入れて考えていただきたいです。

また、討議要綱では、少子化の問題について余り触れていません。子育てや、きょうだいで育てやすいという意味合いも含めて、少子化問題にも向き合っていたいただきたいと思います。

【A委員】 アンケートなどの意見聴取ができないのかというのは、ご意見としてお伺いします。

児童館が地域の力で運営することになっても、今までの地域クラブなりサークル活動ができなくなることはないのではないのか。むしろ地域の方の力で支えていく施設にできないかというのが、今の検討の方向です。

【委員長】 策定委員会の今後の検討課題にのせるということですので、ご理解ください。

【C委員】 既にお子様をお持ちの方が次のきょうだいを育てやすい環境を積極的につくっていくというのは、とても大事な問題です。策定委員会の中でも、少子化について武蔵野市は足りていないという議論をしています。ただ、少子化は必ずしも育児の環境の問題のみではないのです。ひとり親家庭、里子といった多様な家族を認めていく環境づくりを社会はどのように行っていくのかといった問題や、結婚の問題も含めて体系的に考えていく必要があります。育児の問題を全て少子化に絡めるとするのは若干違って、育児環境を整えるという喫緊の問題と少子化全体の解決は、パラレルではあるけれども全くイコールではないと私は考えています。具体的に何ができるかはわかりませんが、育児問題も、少子化という形も、より広く議論できればと考えています。

【桜堤児童館地域クラブ】 吉祥寺の意見交換会で、私が桜野地区の3年生のあるクラスの出生率が2.2という話をしたら、委員から、独身寮などもあるため、武蔵野市の出生率が下がるというお話がありました。それは理解できるのですが、「だから、しょうがない」ではなくて、問題は子どもをどうふやしていくかです。1人の人の子育てももちろん大事です。でも、1人目を産む、1人目から2人目、2人目から3人目というアクションを後押しできる子育てで支援も大事です。フランスには、5人以上の家族には大家族カードというのがあって、地下鉄や美術館、動物園、遊園地が割引になるサービスがあります。小さなことですが、母親心をくすぐる施策は大きな成果へとつながるきっかけになると思います。

パブコメの回答に、少子化は自治体レベルの問題ではないということが書いてありました。私は、そうではないと思います。国・都のレベルではなく、自治体レベルで取り組み、促進していくべきことだと思います。

【委員長】 ご意見として拝聴いたしました。

【学童クラブ連絡協議会】 今、桜野は人口爆発に近い状況で、第五小学校とは随分いろんなことが違ってきています。それは、市内の住居あるいは学校に関する情報を得る手段が限られていることが原因だと考えています。私が住んでいる五小周辺や関前南は古い住宅地が広がっています。20年、30年前の学校が過疎化した状態で、利活用も進んでいません。でも、子育てにはすばらしい環境がそろっているのです。私はここで子どもを育てられたことを非常にありがたく思っています。

市はビッグデータをお持ちだと思います。それを不動産デベロッパーなどに還元することを考えてはどうでしょうか。子育てを念頭に置いた都市計画、空き家の状況といったきめ細かな情報は、武蔵野市のどこに住もうか考えている人にはとても参考になります。地域の不均衡が是正できて、行政にとっても、住む人にとっても、いい状態が作り出せると思います。

【B委員】 行政が、この地域は子育てがしやすいけれども、こちらは厳しい、という評価をするのは難しいと思います。確かに不動産のチラシにはいいことしか書いていなくて、厳しい情報が伝わりません。市は、これまで余り外へは出してこなかったオープンデータを加工、分析しやすい形で提供しているという動きになっています。子育て相談のような情報の共有・提供の仕組みを、民間の力をお借りしてつくるというのは、おもしろいアイデアだと思います。受けとめさせていただきます。

【老壮連合会】 討議要綱の14ページ、基本施策3「市民文化の醸成」の(2)「文化施設の再整備」に、武蔵野公会堂が古くなっているから、作り直すと書かれています。今、スイングホールは180名しか入れません。市役所の811会議室も180名です。プレイスは90～100名です。私ども老壮連合会が40周年記念を開催した際は、教育委員会の生涯学習スポーツ課にご協力いただいて、公会堂を開放していただき、500人を何とか定員350人におさまるようにしました。箱物はお金がかかるのはわかるのですが、中途半端な作り方をしないで、余裕ある建物づくりを検討していただくようお願いします。

また、15ページの基本施策4には、プレイスなどの具体名を挙げ、市の各部署・関連施設、生涯学習団体、大学その他と事業を展開していきたいと書いてあります。具体的にはどんなことを考えていらっしゃるのでしょうか。

それから、コミセンの自主性はわかりますが、場所によって9時募集だったり、9時半募集だったりすると、戸惑います。時間のスタートと終わりは市で要請していただけないのでしょうか。

【A委員】 公会堂は、吉祥寺駅の井の頭公園側の近くという立地上、単に施設をつくり直すのではなくて、吉祥寺南口地域全体の面的な整備を考えています。仮に似たような機能をつくる場合も、中途半端に小さくつくと使い勝手が悪いというご意見は、受けとめさせていただきます。

コミセンは、地域のコミュニティのための施設として、運営も地域の方にお任せしています。市で統一的な基準をとるのは難しいのですが、コミュニティ研究連絡会などさまざまな会合で議論をしていただきたいと思います。申込時間の統一については、また別の立場からのご意見もあるかと考えます。

【吉西福祉の会】 基本施策2の(2)「共助の仕組みづくり」に「子育て支援団体・グループや子育て中の家庭自身が、地域の子育て支援の担い手となるよう、その活動を支援するとともに」とあって、心強く思いました。福祉の会は、地域のコミセンを会場に、幼児を持つお母さんの会を月に1回開いています。市の親子ひろばが間もなく月2回になるに当たり、私たちの高齢化と会員不足のため、お母さん方で進めていただきたいのですが、なかなかできなくて悩んでいます。

さらに、保育時間の延長を求める声が高まる中、福祉の会の1つが、学童保育施設にお迎えに行き、コミセンで親御さんの帰りを待つということをしています。働く方とその子どもを守るというのは、市で進めていただきたい大事な施策です。策定の中で、こういうことは出ていたのでしょうか。

【NPO法人自転車安全運転検定協会】 討議要綱 32～33 ページの無作為抽出市民ワークショップでは、子どもたちの自転車マナーや交通安全のことが挙がっています。交通安全教育の一環で、小学校の放課後に自転車安全運転を学びに来てもらう、遊びに来てもらう感覚で実施してはいかがでしょうか。各団体や施設とも連携しながら、活動をバックアップしていただけるような流れをつくっていただくよう、皆さんにお願いしたいと思います。

【NPO法人子育て応援スペースとことこ】 まず、基本施策1の保育園の数についてです。新制度では、短時間就労の方も保育園に預けられるようになりますが、産前産後とか、保護者の方がご病気の場合にも保育園を使えるという制度が、今、全く生きていません。一時預かりも、待機児対策で活用されている部分があります。(2)の虐待防止や貧困家庭のフォローにもかかわるのですが、昔のような個人で預け合う関係が地域にない中、初めての子育てに行き詰まり、リラックスのために子どもを預けることで、ようやく人に相談ができて救われたという方がたくさんいらっしゃいます。子どもプランのニーズ調査では、保育園の数は一応充足ということになっていますが、私どものような小さなところでも、年間で1,000件以上は一時預かり保育をお断りしているのが実情です。

基本施策2の(2)「共助の仕組みづくり」の「その活動を支援するとともに」というところがすばらしいです。武蔵野市は0123のような大きな施設があって、市民はどうしてもサービスを受ける側と思いがちですが、実は小さなグループがたくさん動いています。新しく大きく動き出すに当たり、多くの市民の声を入れて、市民のやる気が出るような進め方をしてください。また、地域で子どもたちを見守っていくとなると、さまざまな課が絡みます。市は連携して、フットワークを軽くしていただきたいです。

【副委員長】 親はサービスの受け手だけではないというのは、まさにそのとおりで、これは健康・福祉分野の障害を持っている方、高齢の方も全く一緒の、大変重要性の高いことだと思います。子ども・教育分野の基本施策2の(2)「共助の仕組みづくり」は、子育て中の家庭自身も担い手になっていくんだということです。ここが豊かになっていくことで、地域の中で子育てがしやすくなり、福祉などいろんな問題に波及していくと考えています。

相談に来られる、あるいは誰かのところに行ける人への支援も充実させる一方で、相談に来られない人をどうしようかというのは、私は個人的にも非常に関心の高い部分です。SOSを出せない人たちにどう手をつなぐように出していけるのか。ここをこれから考えていかないといけないと思っています。つまり、アウトリーチですね。そこも基本施策2のところで、新たな訪問支援の施策を考えていきたいです。

学童クラブの長時間化はどこの自治体でも大変問題になっています。長時間化がいい、悪いという議論もあれば、長時間化にどう対応するかという議論もあります。コミセンで一時預かりをして、子どもの安全を守るというところに関しては、これから策定委員会の中でも議論をしていきたいと思っています。

子どもの安全を守るという点では自転車も重要な論点です。どのように子どもに安全に使ってもらえるか、加害者にならないのか、被害者にならないのか、その点を含めて持ち帰らせていただきます。

【関前ウォーク】 待機児童をなくすというのが、今回も出ています。前回も出ています。いつになったら実現するのでしょうか。逆に、もし失敗した場合は、なぜ予測が外れたかを勉強していただきたいと思います。

また、認可保育園、認証保育所、そのほかにもまだいろいろな施設がありますが、このバランスをとることも大事です。

学童クラブについても、いい制度ですが、学校によって施設が大きく違います。高齢者施設の上にある学童クラブは非常に小さいです。皆さんが使いやすくなるようにしていただきたい。

【桜堤児童館地域クラブ】 討議要綱 11 ページの「共助の仕組みづくり」について。私は今、4人の子どもを育てています。子育て中の人は本当に必死で、自分自身が子育て支援の担い手になるというのは難しいです。そこを共助の仕組みづくりで引っ張っていくのは大事ですが、公助を抜いて共助をではなく、やる気になれるステップアップが必要です。児童館にしろ、コミセン親子ひろばにしろ、直営をやめて、すぐに民間でというのは、どうしてもコストカットの面が見えてしまいます。共助がコストカットを連想させない書きぶりを考えてください。共助は、公助の上で育つと私は思います。

10 ページのくぬぎ園の跡地利用についてですが、今の所長さんから、くぬぎ園の跡地を子育て支援の場にする話があったとお聞きして、驚きました。今は、他者の違いを認める、受け入れて共生していくことが大事です。幼稚園や保育園をつくるときには、「うるさい」という反対の声が上がりますが、相手の顔が見えていれば、騒音にはならないとも言われています。くぬぎ園跡地利用施設に、高齢者と障害者の方、プラス子育て支援の機能も持たせられないでしょうか。

16 ページの情報伝達についてです。先日、小金井市で起きた事件に絡む不審者情報が入ってきました。情報は、西部地域の桜野小と児童館には入ったのですが、境の二小と西部コミセン、桜堤コミセンには入ってきませんでした。今、コミセンは子どもの居場所と言われています。防犯・防災情報はコミセンにも回して、対応についても行政からの指導があるべきだと思います。また、そのためにも、校区に相当するような、コミセン利用区という区分けが必要だと思います。さらに、情報は、どの校区、どのコミセン利用区に知らせるかというロードマップのようなものをつくるといいと思います。

【副委員長】 待機児童が減っていないというご指摘をいただきました。武蔵野市は、実は平成 24 年、25 年、26 年の 3 カ年で 624 人分の保育定員を新たに確保しています。それでもまだ減らないという現状があるのです。4 月から新制度がスタートして、保育に準市場が入ってくると、子ども・子育てが商品化されていく。ここを市はどうやって守るのか。これを行政がやらなくて誰がやるのか。一方で、新制度には使い勝手のいい面もあるのです。そこを武蔵野市でどう展開していくのか。そのあたりを押さえながら、待機児童の解消に向けて、策定委員会の中でも議論を続けていきます。

学童クラブに差があることも、ご意見として大切に承らせていただきます。

共助には、公助を市民に放り投げるイメージも含むので、丁寧にしないといけないということは、策定委員会の中でも発言をして、議論しました。策定委員会では、共助をコストカットのために市が手を引いて市民に投げるということでは使っていません。共助は、公助を引き上げる、背中を押す、そういう作用もあるので、ここでいう共助は、市民が、市民の命・子どもの命・安全を守る仕組みとして考えています。

【C委員】 くぬぎ園の跡地利用で子育て関係の機能も入れられないかというのは、議員さんのお話のときも伺っています。しかし、都との協議という部分もありますので、今後どうなるかはわかりません。私はぜひ進めるべきだと思っていますが、同時に、預ける親の側で医療機能を持った施設であることに不安に思われる方もいらっしゃるかもしれません。このあたりは、市民社会の多様なかかわり、違いを受け入れる、違う世代と一緒にいることが重要だという皆さんとの議論を通して、コンセンサスをつかった上で初めて成立する仕組みだと思います。

【B委員】 不審者情報の伝達について、おっしゃっていることは正しいと思います。ただ、どういう情報をどう伝えるか、どこまですることが一番適切なのか、流した後の解除まで含めて考える必要があります。情報は、できる限り流していくのですが、どういうケースはどこに連絡するという規則的なことまでは決めかねているのが現状です。

【D委員】 策定委員会では、横串をどうするのかということはずっと話し合っています。市民の皆さんから横串のご意見をいただいて勉強になりました。

まず、学校施設は、私も使いにくいことが多々あります。どうしてこんなに大きな施設をつくって市民に貸し出していないのか。市民と子どもの動線を分けておけば、休日等には幾らでも貸すことができたのではないかと。今すぐの改善は難しいとしても、運用できるところは変えていただきたい。討議要綱の13ページには、学校施設整備基本計画を検討するとなっていますので、20年、30年先の話になるかもしれませんが、ぜひ皆さんにご意見を上げていただけたらと思っています。

私は、子どもを保育園に通わせ、学童クラブもずっと使ってきているのですが、ただ単に時間を延ばせばいいとは正直思えないのです。基本的には、親が早く帰ってこれるような世の中をつくることとあわせて話を進めなければいけない。これから中間管理職になっていく我々が、せめてこの先、若いお父さん、お母さんを早く帰らせてあげられるようなことを率先して進めていく。家事も子育ても、当たり前前は当たり前にするという我々男の側の意識改革も必要ではないか。

自転車のマナーに関しては、市民会議でもかなり意見が出ました。小学3～4年生に自転車講習会がありますが、それだけでは足りない、受講者にシールや記念品をあげるだけではなくて、免許制にしたかどうかという意見もありました。自転車はこの先、厳格化が進むという話もありますので、検定など具体的にご意見やアイデアを伝えていただけたらと思います。

【委員長】 それでは、この辺で締めさせていただきます。

4. 閉会（午後0時30分）